

まほらいな市民大学の様子

令和6年11月19日（火）

『 江戸時代の信州の源氏絵と源氏の物語 』

講師 文学研究家 堀井正子氏



堀井正子氏から、長野県内の美術館等にある多くの「源氏絵」を、ひとつひとつ紐解いて紹介がありました。そして、それは「源氏物語の第何帖のもの」であり、その時の情景や描かれている人物の心情について詳しく話がありました。今年の大河ドラマ『光る君へ』の登場人物にも触れながら、源氏物語の作者である藤(紫)式部のことや「平安文学の世界」の魅力について話がありました。

学生からは、「堀井先生にお会いできてうれしかった。見せていただいた絵巻はとても色彩が美しかった。」「今まで源氏物語にあまりなじみがありませんでした。今回の講演をお聞きし、平安時代のことをもっと知りたくなりました。」「恋愛感情など、昔からこのようなことがあったのですね。これから源氏物語を読んでみようかなと思いました。」「源氏物語は学生時代に誰しも教科書の中で知ることになるが、話の中身はすごいことだったんだなと興味深く耳を傾けて聞き入ることができた。昔の生活にもふれることができ、スライドの場面の扇風絵もすばらしかった。」「といった感想がありました。